

会報

しんせき

第 81 号

令和2年2月10日

発行責任者

新関コミュニティ協議会

会長 渡辺 和典

笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱい

新関コミュニティ協議会：新潟市秋葉区下新364-1 Tel.0250-47-4640

(新関コミュニティ協議会の活動は、新潟市の助成を受けています。)





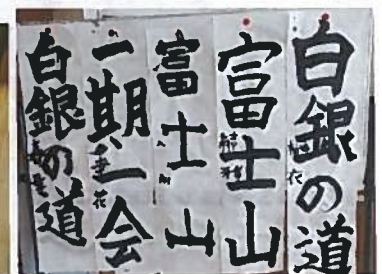
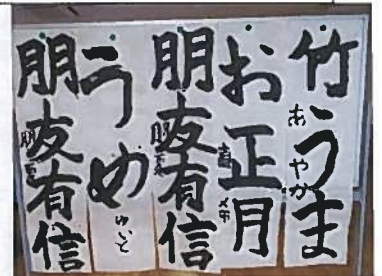
「西南西の方角」を向いて書初め

新関小学校では、新年早々の1月に「校内書初め大会」を行っています。特徴として、その年の縁起の良い方角（恵方）を向いて書初めに挑戦します。今年は「西南西」。6年生だけは各自が目標とする言葉、願いのこもった四文字熟語などを書きました。1、2年生は硬筆。

作品はコミセンにも飾られ、「うまいね」「元気がいいね」という感嘆の声が寄せられました。

…今年の歳神様は西南西にいらっしゃる。よってこの方角に向かって事を行えば万事吉・・だそうです。…

新関コミ協でも「毛筆に親しむ会」の子供たちが書初めをしました。学校で書いた文字を、今回は大きな紙「半切（書初め用紙の4倍）」と太い筆で豪快に書いてみました。爽快な気分だったそうです。



五穀豊穰・無病息災



金屋



大関

各地で
塞の神
行事行
われる



市新



岡田



六郷



新郷屋



小口

「繭玉」は、繭玉団子を柳や水木の枝先に「餅花」と言われる丸めた団子をさして「豊かな実り」について表現したものとされています。かつて新関地域も養蚕の盛んな地域でした。今でも蚕のことを「蚕様」と様付けにして呼ぶことがあり、いかに貴重なものだったかがわかります。

繭玉の習わしは、養蚕を行う人々が立派な繭ができますようにという願いが込められており徐々に作物の豊作を祈る風習、商いの繁盛へと広がっていったようです。

自治会では、無病息災・五穀豊穰を願って塞の神行事が行われました。また、大関自治会では節分の豆まきも境内で行われました。様々な神事、習わしなどから昔の人の生活に根差した願いを読み取ることができます。(自治会の皆様写真の提供ありがとうございました。)



児童クラブ
繭玉づくりに挑戦



総合発表会

(13:50~14:35)

会場：1階 集会室

<新聞の未来について>

- ① 「のぼり旗クリーン作戦」 朱・春華・松本・心
- ② 「コラボサラダでPR」 翔和・志賀・心温・和花・心
- ③ 「今後についての提案」 夏・知花・幸花



おいしい柿は
高橋農園さん

新関小学校×テール・エ・テッラ 期間限定
11月19日~12月18日

！コラボしました！

＜コラボ内容＞
高橋さん 柿と生ハムを使ったサラダをつくる！

柿と生ハムを使ったサラダをつくる！

Good!

柿のほかに、さくらんぼやみかんも使っています！お店で目利きしてもらってみたいです。

柿のほかに、さくらんぼやみかんも使っています！お店で目利きしてもらってみたいです。

柿のほかに、さくらんぼやみかんも使っています！お店で目利きしてもらってみたいです。

新関小6年生は、6年間の総合の学習の総集編として過去の6年生の学習を引き継ぎながらさらに新しい発見を織り込んでまとめをしました。今回新関コミ協と連携し、ようやく具体的な形となった成果を保護者の前で発表しました。パソコンを使っただけの発表は大いに説得力がありました。

地域の皆様の協力を得、子供たちが考えた地元産の柿を使ったサラダ、期間限定でしたが来年も是非期待したいものです。のぼり旗は今後後輩たちに引き継がれ、春のクリーン作戦の時など計画的にPRし「ゴミのないクリーンな新関」に取り組むということです。

地域の皆さまも

六送会にご参観を

新関小学校は3月に「6年生を送る会」が行われます。在校生と卒業生との心のこもった交流が参観した保護者にいつも大きな感動を与えています。会場全体が一つになって涙の素敵な会です。

「この素晴らしい姿を保護者だけでなく地域の方にも見ていただいたら・・・」という声が毎年寄せられていました。小学校と相談の上ご案内します。是非ご参観ください。

3月3日後1:20までに会場(小学校体育館)にお入りください。終わりは2:30です。



駐在さん、新関見守り隊の皆さん早朝よりありがとうございます。



「二月は逃げる」とか申します。2月ももう半ば、猛スピードで時間が過ぎ、祝日などが入ると一段と速く感じます。令和2年を迎え、新年のあいさつと思いきやその機会を逸してしまいました。今回、期せずして季節の風物詩など昔の行事の紹介などが多くなりました。時代の変化などでこの種の行事は次第になくなりつつあります。古来の風習などにはそれなりの意味が込められています。子どもたちにも伝えていきたいものの一つだと思います。「コロナウイルス」が世界中を震撼させています。一刻も早く終息を願っています。皆様もご自愛ください。